

令和8年度

予算書

令和8年3月24日

資料目次

1 令和8年度予算編成について	-1・2-
2 収支予算書	
(1)収支予算書(正味財産増減予算書)	-3-
(2)収支予算内訳表(正味財産増減計算書内訳表)	-4-
(3)資金調達及び設備投資の見込みについて	-5-
3 事業計画書	
(1)令和8年度事業計画	-6・7・8・9-
(2)令和8年度「物品預託と払出」計画	-10-
(3)令和8年度「ボランティア活動」計画	-11-

公益社団法人 熊本善意銀行

令和8年度予算編成について

—はじめに—

県内では台湾積体回路製造(TSMC)の第1工場が本格稼働し、半導体関連企業の集積が進んでいます。また、新型コロナウイルスの影響もやわらぎ、インバウンドの動きも活発になってきました。一方で、地球規模での気候変動に伴う猛暑や豪雨などの自然災害が、深刻な影響をもたらしています。令和7年8月には、記録的な豪雨に見舞われて熊本市や八代市、上天草市など広い範囲で住宅や道路、農地などが浸水、甚大な被害に見舞われました。熊本地震や令和2年7月豪雨とともに被災地復興や被災者の生活再建が大きな課題になっています。また、不安定な中東情勢などに伴うエネルギー価格や食料品などの物価高騰の影響が、私たちの生活を直撃しています。

こうした中、熊本善意銀行は令和8年度も、物価高などの影響を強く受けている障がい者や高齢者、ひとり親家庭をはじめ、豪雨や熊本地震の被災者などを支援している団体の方々への助成を通して、誰もが安心して暮らせる地域社会や福祉を築いていくお手伝いができればと願っております。

当行は昭和38年の設立以来、63年以上にわたり県民の皆さまとともに歩んでまいりました。これまでの活動が継続できましたのは、会員の皆さまをはじめ、預託者、ボランティアの皆さまから寄せられた温かいご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。当行はこれからも、県民の皆さまからお預かりした善意の金銭や物品を、支援を必要とされる方々につなぐ「善意の架け橋」としての役割を果たしてまいります。

本年度も、皆さまの変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

—概要と考え方—

熊本日日新聞社と地方経済総合研究所が実施した県内企業の経営者意識調査によると、令和8年の県内景気について「良くなる」または「やや良くなる」と回答した企業の割合は46.1%となり、前年から10ポイント以上低下しました。経営に悪影響を及ぼす要因としては、物価や原材料価格の変動に次いで、人手不足を挙げる企業が多く、依然として厳しい経営環境が続いていることがうかがえます。

こうした状況の中、熊本善意銀行の令和7年度における受取預託金は、大口預託者の減少などの影響を受け、予算をやや下回る見込みとなっています。近年、

地域経済を下支えしてきた台湾積体回路製造(TSMC)進出への期待感が一服していることもあり、県内景気の先行きについては慎重な見方が広がっています。

このため、令和8年度の寄付金収入については、増加を見込まず、前年度予算とほぼ同水準とする計画とし、公益目的事業会計と法人会計を合算した総経常収益を22,610千円(前年度予算23,153千円)、前年度予算比97.7%としました。また、総経常費用は24,107千円(同26,206千円)で、前年予算比92.0%。総当期経常増減額は▲1,497千円(同▲3,053千円)です。

公益社団法人に求められる収支相償、公益事業比率、遊休財産保有制限の「財務3基準」を遵守し、より一層の安定的な運営を目指します。

地域に根差した社会福祉事業に取り組むため、法人会計と公益目的事業会計は以下のような予算にしました。

《法人会計》

法人会計は熊本善意銀行の運営維持に必要な基本経費を賄う会計で、会員の皆様からの会費収入に支えられています。ただし、収入の半分を公益目的事業に充てるため、経常収益予算は8,175千円(前年度予算8,178千円)で前年度予算比100.0%にしました。

管理費は前期同様、費用を公益目的事業と法人事業に分配しました。支出合計は2,742千円(同2,736千円)で前年度予算比100.2%、当期経常増減額は5,433千円(同5,442千円)です。

《公益目的事業会計》

公益目的事業会計は熊本善意銀行の社会福祉活動の根幹を表す会計で、収入は広く県民の方々から寄せられる「善意」の預託金です。これに会費収入の50%を加えて、経常収益予算は14,435千円(前年度予算14,975千円)とし、前年度予算比96.4%の予算にしました。

公益目的事業は従来地域ボランティア活動支援や「小・中学校への車いす贈呈」、「100歳到達者の表彰」などをこれまで通り行っていきます。さらに障がい者福祉・児童福祉・高齢者福祉等の払い出し申請に基づく公益事業予算は、新聞・ラジオ・ホームページ等を活用して広く門戸を開き、ケースに応じて柔軟に対応していきたいと考えております。事業費は21,365千円(同23,470千円)で前年度予算比91.0%、当期経常増減額は▲6,930千円(同▲8,495千円)となり収入を上回る払い出しにしました。

令和8年度 収支予算書(正味財産増減予算書)

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位 千円)

科目	当年度	前年度(予算)	増減	前年度比
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取会費	16,250	16,350	-100	99.4
② 受取寄付金	6,300	6,800	-500	92.6
③ 為替差益	0	0	0	
④ 雑収益	60	3	57	
経常収益計	22,610	23,153	-543	97.7
(2) 経常費用				
事業費(公益)	21,365	23,470	-2,105	91.0
管理費(法人)	2,742	2,736	6	100.2
経常費用計	24,107	26,206	-2,099	92.0
当期経常増減額	-1,497	-3,053	1,556	49.0
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-1,497	-3,053	1,556	49.0
他会計振替額	-	-	-	
当期一般正味財産増減額	-1,497	-3,053	1,556	49.0
一般正味財産期首残高	20,444	21,273	-829	96.1
一般正味財産期末残高	18,947	18,220	727	104.0
II. 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III. 正味財産期末残高	18,947	18,220	727	104.0

※災害救援に関連する支出は、予算額を越えて執行することができる。

※一般正味財産期首残高の金額は予算策定時の推定値です。

令和8年度 収支予算内訳表(正味財産増減計算書内訳表)
令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位 千円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等 消去	合 計
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取会費	8,125	8,125		16,250
受取会費	8,125	8,125		16,250
② 受取寄付金	6,300			6,300
受取寄付金	6,300			6,300
③ 為替差益	0	0		0
④ 雑収益	0	0		0
受取利息	10	50		60
経常収益計	14,435	8,175		22,610
(2) 経常費用				
事業費	21,365			21,365
役員報酬	299			299
給料手当	4,781			4,781
臨時雇用賃金	894			894
福利厚生費	228			228
旅費交通費	387			387
通信運搬費	584			584
消耗品費	571			571
印刷製本費	110			110
広告宣伝費	1,464			1,464
賃借料	921			921
会報発行費	497			497
支払助成金	5,912			5,912
障がい者福祉	976			976
児童福祉	2,674			2,674
災害見舞い助成	200			200
各種団体助成	2,062			2,062
チケット購入費	110			110
記念品購入費	2,496			2,496
新聞代・送料	360			360
車いす購入費	588			588
毛布購入費	539			539
減価償却費	495			495
為替差損	0			0
雑費	129			129
管理費		2,742		2,742
役員報酬		61		61
給料手当		979		979
臨時雇用賃金		183		183
福利厚生費		47		47
旅費交通費		79		79
通信運搬費		120		120
消耗品費		117		117
印刷製本費		12		12
広告宣伝費		300		300
賃借料		189		189
会報発行費		102		102
減価償却費		101		101
為替差損		0		0
雑費		452		452
経常費用計	21,365	2,742		24,107
当期経常増減額	-6,930	5,433		-1,497
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0		0
経常外収益	0	0		0
(2) 経常外費用	0	0		0
経常外費用	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-6,930	5,433		-1,497
他会計振替額	-	-		-
当期一般正味財産増減額	-6,930	5,433		-1,497
一般正味財産期首残高	-	-		20,444
一般正味財産期末残高	-	-		18,947
II. 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0		0
III. 正味財産期末残高	-	-		18,947

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

令和8年4月1日から令和9年3月31日中に資金調達の予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の内容	支出予定額（税込み）	資金調達方法
設備投資の予定はありません		

令和8年度事業計画

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

令和8年度の事業計画は、前年度計画と同程度にしました。基本的な助成も例年通りの計画にし(1)障がい者や児童福祉、災害見舞助成、各種団体への助成(2)百歳を迎えたお年寄りや施設児童・交通遺児の進学・卒業祝い、小中学校への車いす寄贈など物品助成(3)登録ボランティア団体の活動の橋渡しーなどの中核事業を引き続き推進していきます。よりきめ細やかな社会福祉貢献のため引き続き「善銀パートナー」参加を推進し、サポート体制の強化を図ります。

広報面では事業の活発化と公平性を保つために、新聞とラジオのほかホームページをより充実させ、啓発活動に力を入れていきます。

1、[公益目的事業]

地域社会が直面する問題の改善を目的として、事業を行う団体・個人に金銭助成や物品支援を行います。

「事業内容」	「備考」
助成事業：公1事業	
① 障がい者福祉助成 (976 千円) ・障がい者福祉施設等の製品販売促進へ助成 ・重症心身障がい児(者)クリスマス交流会へ助成 ・ダウン症児(者)の夏季療育訓練などに助成 ・肢体不自由児の入学祝に助成 (50 名分)	前年度予算 より減額
② 児童福祉助成 (2,674 千円) ・児童福祉施設の夏季行事に助成 (669 名 15 施設) ・ひとり親家庭等の入学祝に助成 (180 名分) ・施設児童・交通遺児の進学・卒業祝い	前年度予算 より減額
③ 災害見舞助成 (200 千円) ・災害(火災・水害・地震等)に遭われた家族に見舞金を贈呈	前年度予算 より減額
④ 各種団体の助成 (2,062 千円) ・地域食堂支援や熊本いのちの電話、児童養護施設退所者を支援する団体、災害被災者の支援団体、その他申請のあった地域福祉団体へ助成	前年度予算 より増額

<p>物品助成：公1事業</p> <p>① チケット等配布（110千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉施設、障がい者福祉施設などで日常生活を送られている方々やひとり親家庭の方々などに、楽しいひとときを過ごしてもらうためスポーツ観戦、寄席等の入場券を贈呈します。 <p>② 敬老の日 百歳到達者に記念品贈呈等：第46回（2,496千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の満百歳を迎える方々に記念品を贈って長寿をお祝いするとともに、千代の園酒造預託の清酒「百歳万歳」も贈呈予定です。本年の対象者は約1000名の見込みで熊日メディアコム・熊日物流販売、熊日各販売センターの協力を得て、敬老の日前後に自宅や入所施設などにお届けします。 	<p>前年度予算 と同額</p> <p>前年度予算 より減額</p>
<p>郷土紙提供（360千円）：公1事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本県出身の青年海外協力隊員に郷土紙提供。（約20名） 青年海外協力隊の要請により、世界各地の発展途上国で農業や技術、教育支援などを行っている県出身の隊員たちに、激励の気持ちを含めて郷土紙を「電子版」で提供します。 	<p>前年度予算 より減額</p>
<p>車いす贈呈（588千円）：公1事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいやけがなどで車いすが必要な児童・生徒に使用してもらうとともに、総合学習で福祉体験活動等を行う際にも利用するため、希望する小中学校に車いすを贈呈します。（13台） 	<p>前年度予算 より減額</p>
<p>毛布・タオル贈呈（539千円）：公1事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県下の被災者へお見舞いとして毛布を贈呈 ・障がい者スポーツ大会等の参加賞としてタオルを贈呈 	<p>前年度予算 より増額</p>
<p>広告宣伝（1,464千円）：公1事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人や団体、企業の社会貢献活動を啓発、啓蒙するとともに、公益活動への関心を高めるため、善銀パートナー制度などについて下記の媒体を使用し、活動内容を広く告知します。 ・新聞広告の掲載、ラジオでの呼び掛け ・ホームページの充実、その他チラシなどの製作 	<p>前年度予算 と同額</p>

2、[会務の運営]

総会、理事会、運営委員会等に関する事項

① 総会

- ・ 定時総会は、6月に開催。
- ・ 臨時総会は、必要に応じて開催。

② 理事会

- ・ 定時理事会は、2回以上開催。
- ・ 臨時理事会は、定款14条のいずれかに該当する場合に開催。

③ 運営委員会

- ・ 運営委員会は、効果的な事業の推進を図ることを目的に、各種事業の整理・調整を行うため開催（年6回以上）。

④ 同種活動団体との情報交換

- ・ 富山県善意銀行や中部善意銀行等と情報交換を行い、活動の参考にします。

3、[その他の事業]

① ボランティア団体等の拡充

現在、15の団体・個人に年間を通してボランティア奉仕活動を行っていただいております。約120人のボランティアがおられます。引き続き、安全で安心なボランティア活動を行って頂くために、全国社会福祉協議会の「ボランティア活動保険」加入を推奨します。また、若手のボランティア登録の拡大にも努めます。

② 肢体不自由児ふれあい写真展に共催

公益財団法人熊本県肢体不自由児協会が主催している「肢体不自由児ふれあい写真展」を令和8年度も共催します。同写真展は県内の肢体不自由児を対象にデジタル写真を募集し、文化活動を促進するとともに、肢体不自由児に対する社会の理解を啓発していくことを目的にしています。優秀作品に熊本善意銀行賞を授与し、特別支援学校やこども総合療育センター、希望する肢体不自由学級設置中学校などで巡回展示会を開催します。

③ 支援学校文化作品展の開催

支援学校の生徒の人格と個性を尊重し、可能性を最大限に伸ばせるように高校文化連盟特別支援学校専門部、一般財団法人熊本公德会とともに「支援学校文化作品展」を開催します。優秀作品に熊本善意銀行賞を授与します。

④ 障がい者福祉施設販売会（ほっと&ハートマーケット）の開催

一般財団法人熊本公德会とともに熊本市中央区上通町の「びぶれす広場」で、障がい者福祉施設が作製している製品の販売会を実施します。年2回（計4日間）の開催を予定しており、参加する障がい者福祉施設は無料で広場を利用して、物品販売を行います。

⑤ 預託の拡充

企業、個人からの預託は、新聞・ラジオのほかにホームページでも見ることができます。ホームページをさらに充実させるなど多様な広報活動を行い、預託の拡充に努めます。新規会員の募集は前記媒体でのPRと、機関紙やチラシ等で勧誘を図っていきます。また、引き続きサポーター制度である「善銀パートナー」への参加を呼び掛け、寄付文化の醸成に努めます。

令和8年度「物品の預託と払出」計画

令和8年4月1日～令和9年3月31日

令和8年度の「物品の預託と払出」計画は前年度並みと考えております
(前年度実績参照)

預託者	品名	払出先
荒木雅子さん他3件	食品4箱	きらきら星レジデンスなど3施設へ
九州ラーメン党	ラーメン400杯	広安愛児園など4施設へ
熊本城稻荷神社・高橋稻荷神社	御神饌22箱	友愛会銀杏寮など4施設・団体へ
熊本日日新聞社	ミュージカル招待券90枚	熊本県ひとり親家庭福祉協議会など3福祉団体へ
(株)興農園	花の球根2391球	しんせい学園など12施設へ
中央ゴルフ(株)	おもちゃなど357点	みどり園など11施設へ
千代の園酒造(株)	清酒「百歳万歳」637本	本年度の百歳到達者へ
NPO法人日本国際童謡館	コンサート招待券102枚	ひのくにスマイルプロジェクトなど2福祉団体へ
山部広美さん	生花9束・野菜1箱	イエズスの聖心病院など3施設
吉田忠志さん他3件	玄米・米100 ^{キロ}	くまもと支援の会など6施設・団体へ
ラレーヌ・アリス他5件	生活用品など8箱	熊本ライトハウスなど5施設へ
季節料理ふじかわ他13件	未使用はがき・書き損じはがき947枚	交換・換金し福祉資金へ
米岡修一さん他10件	未使用切手558268円分	交換・換金し福祉資金へ
預託者数91件(延べ144回)	使用済み切手40 ^{キロ}	換金し福祉資金へ
熊本善意銀行	毛布15枚	火災見舞いとして8件

令和8年度「ボランティア活動」計画

令和8年4月1日～令和9年3月31日

令和8年度の「ボランティア活動」計画は、令和7年度なみと考えております。

（令和6年度実績参考）

奉仕する団体・人	ボランティアの種類	回数	奉仕先
さつき倶楽部	演奏	117	みつぐ苑など
スマイリー健&アロハ・スターハワイアンズ		10	ケアライフ菊陽など
みゆき&オートルズ		6	コスモスファミリー熊本など
さくらば会	演芸	6	たくまの里など
ボランティアグループ隣保組		3	デイサービスセンター福まる道場など
ボランティアグループ和会		2	デイケア成仁など
熊本民踊会		2	るり苑など
熊本さわやかハイヤ倶楽部		1	シニアハウスにしはら翔裕園
ハレルヤ笑いヨガくらぶ	健康体操	7	阿房宮など
ろごす腹話術くまもと	腹話術	5	くまもとケアセンターそよ風など
KARA・KARA	合唱	3	デイサービス宇土など
明日香会	大道芸	2	あおぞらの里西原デイサービスセンターなど
柏原幹治	相撲甚句など	1	笑顔の広場水前寺デイサービス
田中智恵子	使用済み切手整理	17	換金のための仕分け作業
森病院患者有志		7	
山村久子		7	
匿名		2	
合計		198	